

~軽井沢町の“今”を伝える情報誌~

ボランティア情報

2015年
3・4月号

発行 軽井沢町ボランティアセンター
〒389-0111 軽井沢町大字長倉 4844-1 木もれ陽の里
電話 45-8113 FAX 46-2116

http://www.ktvc.jp Email karu-vc@eco.ocn.ne.jp

ちいき活動みほん市にご参加ありがとうございました!

やわらかなつながり、ゆるやかなネットワークを作り上げよう!と開催した第5回ちいき活動みほん市。

当日は述べ300名を超える参加者の皆様に会場まで足を運んでいただき、昨年に増して盛り上がったイベントとなりました。事前に新聞でも取り上げられたように、地元中部小学校の生徒さんたちが、「まめ記者」として会場を巡り、出展グループの取材をしてくださいました。その後は「緊急記者会見」として、取材内容を大勢の参加者の前で堂々と発表!感動しました!!今号はその時の様子を中心にご報告します。

【会場準備は実行委員会です!】



【今年は体験屋台が出ました!】



【会場からは熱気が伝わってきます!】



小学生まめ記者さん大活躍!

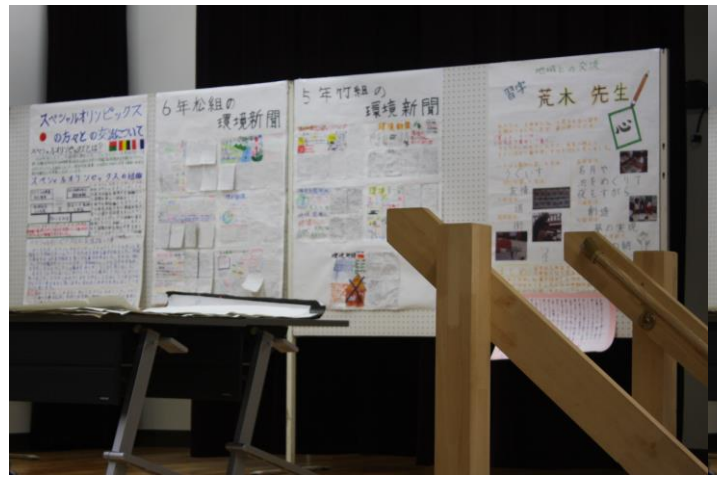
新聞記者さんに新聞の作り方を教えてもらった!

【どこ行く!?ねえお姉さん教えて!】

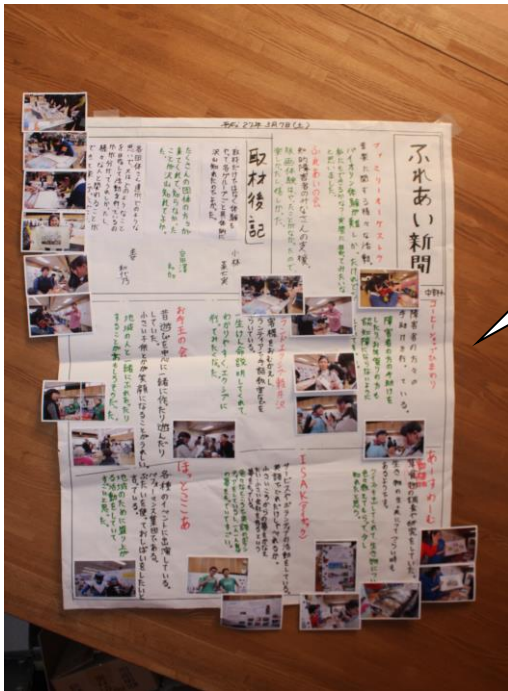


【へえ、なるほどそうなのか!】



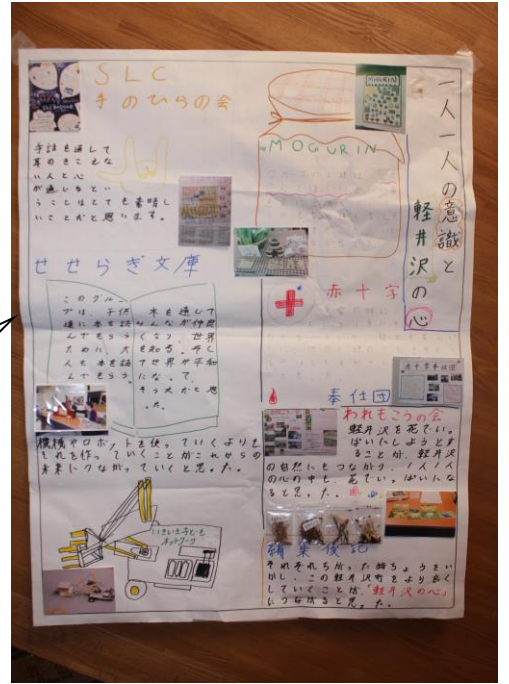


初参加の小中学生の作った壁新聞はどれも力作！読んで感動！涙している方も！！
 その際の力作がこちら↓



【ふれあい新聞】
 写真を多めに撮影しました。取材内容を「色」で分けて見やすく仕上げてあります。

**【一人一人の意識と
 軽井沢の心新聞】**
 実際に見聞きしたことを絵にしたり、現物を張り付けたり工夫してあります。取材を通じて活動する人たちの「心」に触れました。



第5回ちいき活動みほん市押し企画 **ポスター作り講座** もやりました！

2月16日～19日まで、軽井沢町中央公民館を会場に開催しました。ちいき活動みほん市ではこのポスターが会場を彩る“花”になります。作りながら交流が始まり、自分たちのポスターの出来栄を品評したり…。初めは「無理だよ…、難しくマ…」と話していた方々も次第に熱中してくると、「あれも、これも」と注文を出してくれるようになります。お忙しい中ご参加いただいたみなさん、お疲れさまでした！

腕の見せ所満載！

さあさあ、ここからどうしましょう？

おしゃべりに花が咲きます



❀お忘れなく！ボランティア活動保険＆登録更新❀

《ボランティア活動保険》

*補償期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

*掛金（補償金額により異なります）

Aタイプ 300円/Bタイプ 450円

*手続き方法

・ボランティア団体

⇒『ボランティア活動保険加入申込書』（専用用紙）

『保険加入者名簿』（団体独自のもので可）

以上2点の書類に掛金を添えてボランティアセンターまでお持ち下さい（ボランティア団体の場合は加入数15名分までを社協で負担します）。

・個人ボランティア

⇒ボランティア登録票を提出で、加入となります。

手続き及び掛金負担は社協で行います。

※3月23日（月）までに手続きを完了すれば、4月1日からの保険適応となりますが、それ以降は手続き申請時となりますので、ご了承下さい。

《ボランティア登録》

登録形態により提出書類が異なります

*ボランティア団体の皆様

⇒以下の2点を提出下さい

『ボランティア団体登録票』

『ボランティア団体会員名簿』

（団体作成のもので可）

*個人ボランティアの皆様

・町内社会福祉施設で活動している方

⇒各施設のボランティア担当者に更新する旨、お伝えください。担当者を通じて登録手続きを行います。

・社会福祉施設以外で活動している方

⇒『ボランティア人材登録票』を再提出下さい。

社協に登録しているボランティア団体・個人が加入できる『ボランティア活動保険』と『ボランティア登録』は、年度更新です。

～各種講演会・イベントのご案内～

“僕たちはココで生きていく” 映画上映会

日時：27年4月11日（土） 13時30分開場／14時開演／終了17時まで

会場：エコールみよた あつもりホール

内容：復興リアルドキュメンタリーフィルム上映&三陸物産販売とトークショー 他

問い合わせ先：3.11 軽井沢つむぎ隊 代表 飯塚 090-3545-3475

軽井沢町社会福祉協議会 45-8113（代表）

参加費：1人1,000円（一般）／500円（高校生以下）

チケット販売は軽井沢町社協までお問合せください。

自然農法セミナー

日時：平成27年4月12日（日）

会場：実施グループ自主農園「もぐファーム」

問い合わせ先：MOGURIN KARUIZAWA 代表 酒出（さかいで） 090-6523-1456

親子連れ大歓迎！

詳しい場所等はお問い合わせください。当日は自然農法普及員の三浦伸章さんによるプランター栽培も教わります。野菜たっぷりのみそ汁作りとオーガニック野菜の販売もあるかも!?

参加費：1人1,000円

持ち物：長靴、おむすび、お茶

地域の縁側「野あざみ」

日時：毎週水曜日 午前10時～午後3時まで

会場：新軽地区のあざみ亭さん

内容：新軽地区内のひとり暮らし高齢者及び在宅介護をしている方及びご本人のための息抜きの場

費用：1人100円（光熱水費）

問い合わせ先：caféあざみ亭 41-5118／軽井沢町社会福祉協議会 45-8113

《知ってる！？ 意外と知らない “あれ・それ”》

～コーディネーターってなに？～

社協は、福祉を目的とする活動を推進し、住民参加を支援することを法的に定められた公共性を持つ民間の組織です。そのため、どのような人・団体とも関われる中立性を持っています。一方で、民間だからこそ、行政の「平等・公平の原則」故に手出しが困難なケースに対して、優先順位を付けて取り組むことが可能です。中立性・民間性は社協ならではの「強み」と言えます。

コーディネーターとは、異なるものを対等に結びつけるという意味を持ちます。何事もそうですが、しっかりと依頼者や希望者の話を「聴き取る」ことが必要ですから、単なる「会話」ではなく、会話の中から必要な情報を収集して、きちっと筋道を立てることが重要です。実現可能かどうか・対応できるひと、のも、じょうほうはあるか・条件に合わなければ速やかに他方面へ紹介する、等ポイントは「つなぐ」という活動を円滑に実践に移すことですね。

《シリーズ》ボランティアってこんなこと！？



さて、今回もボランティアとは

恋愛のようなものと話す早瀬さんの言葉をお借りします。

－しんどいこともあるが自分自身も元気になる活動だ－

ボランティア活動は疲れますか？辛くてやめようと思ったことはありませんか？その時どうすれば良いのでしょうか？ボランティア活動は生活の延長線の活動。家庭や仕事で疲れたら「休み」ますよね？

ボランティア・地域活動も同じです。疲れたら休めばよいのです。休んで頭と心をスッキリさせて、また次を考えましょう。無理して続けて双方に嫌悪感を持たせるより、一度歩みを止めて周りを見渡してみましよう。きっとヒントがあるはず！

「しんどさ」は自分を強くすること、相手をもう一度見直すことにつながると考えています。自己設定したテーマに沿って行動する無償活動から得た満足感、対価に表すことのできない「喜び」。それを毎日の生活の張り合いにつなげて「いきいき」暮らすことができるのがボランティア活動と日常生活の関係性ですね。

ここに気が付くかどうかで人生の「質」が変わってくるみたいです。恋愛もボランティアも「しんどさ」の中に活力や意味合いを見出すことが大切なんですね。

最後までお読みくださりありがとうございました。次回は5月に発行予定です。